



水泳競技 競泳 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2018年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は予選9レーン、決勝8レーンで、タイムスケジュールどおりに実施する。
- (3) バックストロークレッジを使用する。レッジの高さの調整は各選手が行う。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。
- (4) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者(棄権チーム)が出た場合、次点上位から順次出場権を与える。
- (5) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。リレー競技のスイムオフは予選と同メンバー・オーダーとする。
- (6) 補欠は2名(2チーム)とし、補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。
- (7) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカード・国民体育大会選手カードを持参すること。招集所受付で、ADカード・国民体育大会選手カードの確認、水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日の予選競技開始20分前までにリレー選手受付所に届け出ること。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に届け出ること。
- (9) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (10) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (11) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただしリレー競技は自レーンから退水すること。決勝の優勝者(チーム)は自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (12) 選手紹介は、予選は入場後に紹介する。決勝は、入場ゲートで、氏名・都道府県名の紹介を受けてから入場すること。決勝は、8、1、7、2、6、3、5、4レーンの順に入場する。
- (13) リレーオーダーは、下記の時間までにリレー選手受付所に提出すること。

1日目・9月15日(土)		2日目・9月16日(日)		3日目・9月17日(月)	
予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技
9:30	14:00	9:15	13:45	9:15	12:45

- (14) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (15) 本大会はJADAによるドーピング検査対象とする。

2 全体スケジュールについて

期 日	事 項	選手控所 開場時間	プール 開場時間	予選競技		決勝競技		閉門時間 (予定)
				開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
9月14日(金)	公式練習日	7:30	8:00	8:00 ~ 18:00				18:15
9月15日(土)	1日目	7:00	7:15	9:30	13:06	14:00	17:33	18:15
9月16日(日)	2日目	7:00	7:15	9:15	12:13	13:45	17:23	18:15
9月17日(月)	3日目	7:00	7:15	9:15	11:57	12:45	16:10	17:00

開 始 式 9月15日(土) 9:15~ 総合表彰式 9月17日(月) 全競技終了後

3 表彰について

- (1) 1位～3位に賞状を授与し表彰する。4位～8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰時において、小旗・タオル・県旗等の持ち込みは禁止する。
- (3) 賞状の受け渡しは、賞状引渡所で行う。

4 プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深は1.8m、水温は27.5度に設定する。
- ② バックプレート付きのスタート台を設置する。
- ③ 練習は、3日間とも9:00までとする。
- ④ 1・9レーンをダッシュレーンとする。1レーンを折り返し側からの一方通行、9レーン（バックストロークレッジを設置）をスタート側からの一方通行とする。
- ⑤ 2レーンをペースレーンとする。（クロールのスイムでのみ使用可）
- ⑥ 公式スタート練習は、3日間とも8:20～9:00に行う。
公式練習日は11:00～12:00、16:00～17:00に行う。
- ⑦ 昼休みの練習は、決勝出場者のみとする。
- ⑧ パドル・チューブの使用を禁止する。

(2) サブプール（25m×8レーン）

- ① 水深は1.4m、水温は27.5度に設定する。
- ② 1レーンをダッシュレーンとする。（バックストロークレッジを設置）
※スタート練習は、メインプール側からの一方通行とする。水深に十分注意すること。
- ③ 7レーンをペースレーンとする。（クロールのスイムでのみ使用可）
- ④ コード類の使用は安全に留意し、8レーンでのみ許可する。

5 その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) 招集所・サブプール・選手控え場所にモニターを設置する。
- (3) 公式掲示板を、敦賀市総合運動公園プール2階（選手・監督用）、屋外ゲートボール場（一般用）の2カ所に設ける。
- (4) プログラムを1,500円で販売する。
- (5) 決勝スタートリストを200円で販売する。また、各都道府県には5部ずつ、選手控え場所に設置する各県のレターケースに配布する。
- (6) Eテレ（NHK教育テレビ）の放送について
16日(日) 15:00～16:30 <LIVE> 17日(月) 15:00～16:00 <録画>
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
 - ・SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ・日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」 (<http://j-swim.jp/>)

6 注意連絡事項

(1) 会場使用について

- ① ADカードは宿泊施設で配布する。(監督が責任をもって渡すこと)選手は、顔写真を添付した国民体育大会選手カードを、写真が見えるようにADカードの裏面に挿入し、競技会場にいるときは常時首から下げて提示すること。未成年者は、同意書に保護者(親権者)の署名、押印を必要とする。

※ 国民体育大会選手カードについては、受付案内所(選手・監督)において事前確認を行う。最初に出場する予選競技の招集までに事前確認を終わらせること。

監督・チームスタッフは、ADカードに顔写真を添付し、競技会場にいるときは常時首から下げて提示する。また、入退場の際は、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。万一紛失した場合は、受付案内所(選手・監督)において再発行の手続きをすること。

※ 国民体育大会選手カードおよびADカードの顔写真は、必ず糊付けをすること。

- ② 選手・監督・チームスタッフの入退場は、屋外ゲートボール場横の受付案内所(選手・監督)からとする。
- ③ 一般入場の入口は、入退場・再入場口より8:15からとし、出口も同様とする。
- ④ 撮影許可証は必要としない。ただし撮影時には、以下の注意事項を順守すること。

《注意事項》

ア 会場内では、指定された場所(観覧席)で撮影すること。

イ フラッシュを使用しての撮影は厳禁とする。

ウ 不審な撮影行為は、場内司令員・警備係が事情聴取をし、場合によっては警察に通報する。
不審な撮影行為を見かけたら、場内司令員・警備係に連絡し協力すること。

エ 個人情報保護法に抵触しないよう十分に注意すること。

- ⑤ 事前に指定された駐車場に、各都道府県2台の駐車を可能とする。

(2) 選手控え場所について

- ① 選手席はエリアを指定する。
- ② 選手控え場所の敷物等は整理整頓し、ごみの処理を徹底すること。

(3) マッサージスペースについて(サブプール2フロビー)

指定されたスペースを利用すること。

(4) 更衣室について

- ① メインプールおよびサブプールの男子更衣室・女子更衣室に、都道府県用ロッカー(100円リターン式)を指定する。指定ロッカーを使用する場合は必ず施錠すること(盗難防止のため)。鍵を紛失しないよう注意し、万一鍵を紛失した場合は、実費を徴収する。
- ② 更衣室へのマッサージ台・敷物等の持ち込みは禁止とする。
- ③ 更衣室のロッカー内の荷物は、毎日持ち帰ること。置き荷物は忘れ物として扱い、全日程終了後処分する。

(5) 貴重品について

持ち物や貴重品は各都道府県で管理し、盗難には十分に注意すること。万一盗難が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。

(6) ごみの処理について

競技会場で発生するカン・ビン・ペットボトル等については、分別して処理すること。種類別のごみ箱を用意する。また、乾電池等の対象外のごみは各自で必ず持ち帰ること。